

コウヨウザンの新たな一歩

共同研究に向けて

林木育種センターと協定を締結

一月二〇日（火）局長室において、「コウヨウザン植栽地における共同研究に係る協定書」調印式が行われました。調印は、四国森林管理局長と国立研究開発法人 森林総合研究所 林木育種センター所長とで交わされました。

「コウヨウザン試験地」は、四万十管内、辛川山国有林内に設定（平成二八年六月）しています。（七六号参照）

当試験地は、コウヨウザンの萌芽による再生林であり、国内においても希少な試験地と言われています。

このことから、共同研究に係る協定を締結しました。

協定書の主な内容は、萌芽再生林における優良個体選抜等のための共同研究です。今後の、コウヨウザンを含め、早生

樹の新たな取組として大きな一歩を踏み出しました。

（写真は、調印後の大山局長（右）と渡邊所長（左））



「業務研究発表会」

森林技術部門で受賞

12月13日（火）林野庁において、平成28年度国有林野事業業務研究発表会が開催されました。

四国局から、以下の3部門に4課題を発表し、森林技術部門で林業機械化協会会長賞を受賞しました。

森林技術部門

① 四万十森林管理署

「素材生産における技術交流の促進～民商事業体が連携した技術研修会の実施～」

酒井克馬 山内勇樹

② 森林整備部森林整備課

「改良型傾斜付横断溝の開発及び実地試験結果」

東別府省吾 小杉陵太

（林業機械化協会会長賞）

森林ふれあい部門

四万十川森林ふれあい推進センター

「森林環境教育の実践手法」

松山浩信 川村春喜

森林保全部門

嶺北森林管理署

「嶺北森林管理署管内におけるニホンシカ生息調査及び捕獲・駆除対策について」

鶴内和典 筒井達郎

発表された皆さま、ごくろうさまでした。

「四国森林・林業研究発表会」

1月24日（火）に開催

平成28年度「四国森林・林業研究発表会」を、平成29年1月24日（火）に同大会議室で開催します。

発表課題は局署等から10課題、自治体等から4課題、教育機関等から3課題、試験研究機関（特別発表）から3課題、合計20課題です。

発表者は、研究の成果を、聴講者に分かり易い説明や資料等の工夫等をお願いします。また、聴講される方は、今後の業務に活かすためにも積極的な質問等もお願いしますとともに、すべての課題の聴講もお願いします。



編集後記

2017年が明けました。今年も体調に留意して日々の生活を過ごしましょう。

酉（とり）年も ご愛読よろしくお願い致します。（技術普及課一同）